

## 第34回安芸医学会で2演題発表しました

日時：平成29年12月3日（日）

場所：マツダふれあい会館6階ホール

### ● 演題 「訪問看護師の人材確保・定着に向けて

—当ステーションの現状把握と今後の取り組み—

今後訪問看護利用者数は増加すると報告され、同時に訪問看護師は不足するとされています。そのため当ステーションでも人材確保は喫緊の課題ですが、再就職に関して不安を抱く方は多く、研修体制の充実やワークライフバランスが重要であることが明らかになっています。今回、当ステーションスタッフ対象にアンケート調査を行い、職業人としてやりがいと満足感を感じながら働いているスタッフが多く、当ステーションはワークライフバランスとキャリアアップを兼ね備えた職場であることが分かりました。一方課題も明確になったので、まとめて発表しました。



[抄録はこちら](#)  
[スライドはこちら](#)



### ● 演題 「がんのリハビリテーションの必要性

—進行癌患者に対する訪問での介入により自力歩行獲得に至った症例を通して—  
がんのリハビリは全病期にわたり必要とされ、有効性は検証されつつありますが、その報告数は少ないのが現状です。今回予後半年の宣告を受け化学療法中の患者に対し、コミュニケーションに重点をおき、「歩きたい」という想いに寄り添い、新たな下肢装具を提供できたことで、本人の意欲が向上し、ADL・QOL向上が図れた症例について発表しました。初めて発表させていただき、とても良い経験になりました。

[抄録はこちら](#)  
[スライドはこちら](#)